

令和 7 年 12 月 12 日

実施報告書

文部科学大臣 殿

独立行政法人国立美術館
国立西洋美術館長 田中正之

日本テレビ放送網株式会社
コンテンツ戦略本部 事業局長 関川悦代

展覧会における美術品損害の補償に関する法律に基づいて令和 6 年 8 月 21 日に文部科学大臣と美術品補償契約を締結した展覧会が終了しましたので、実施報告書を提出します。

1. 開催概要

展覧会名	モネ 睡蓮のとき	
開催施設名	会期	入場者数
国立西洋美術館	2024年10月5日～2025年2月11日	80万人
京都市京セラ美術館	2025年3月7日～2025年6月8日	35万人
豊田市美術館	2025年6月21日～2025年9月15日	19万人

●開催概要

世界最大級のクロード・モネ コレクションを有する、パリのマルモッタン・モネ美術館の作品48点を中心に、日本国内の美術館が所蔵するモネ作品を加えて、クロード・モネ晩年の制作に迫る展覧会を実施。

セーヌ河沿いの水面の反映と時の移ろいを描いた1890年代の作品に始まり、ジヴェルニーの水の庭で手掛けられた最初期の〈睡蓮〉から、大画面の〈睡蓮〉連作による展示空間の創出。さらに、後の抽象表現主義を予兆する最晩年の連作まで、マルモッタン作品に加えて、国内の優品も加えて構成し、3会場で134万人の来場者を迎える結果となる。

来場者は各地ともに当初目標を上回るなか、[東京]は会期後半の土日祝、2月を全日日時指定とすることで作品の保全のための混雑緩和を目指した。[京都]では、予約優先制を設け、混雑時は予約者を優先するなど混雑緩和に努めた。[豊田]でも、会期の一部の土日祝を日時指定とするなどの施策をとった。

アンケートでは、[東京]混雑を指摘する声も寄せられたが、全作品モネに囲まれるという展示内容の充実度、満足度が高いという声が多かった。[京都]展覧会の評価5段階のうち5、4を選んだ割合が78%を超え、展示内容への満足度の高さが伺えた。[豊田]満足、ほぼ満足を合わせて89%と、同じく来場者の満足度は高かった。高校生以下無料という美術館の特性からも、30代以下52%、40代以上48%と、各年齢層が満遍なく足を運んでくださった。

2. 美術品補償制度の活用による国民的利益に関する取組結果

1. 入場料の無料化・軽減等における検討状況

—高校生の無料化

■国立西洋美術館

2024年12月12日(木)～27日(金) 14日間

2025年1月2日(木)～17日(金) 14日間 合計28日間で実施。

高校生無料観覧者 8,273人

■京都市美術館

2025年3月11日(火)~28日(金)までの16日間で実施。

小学生 1,118人 / 中学生 1,725人 / 高校生 5,342人

■豊田市美術館

高校生:全期間無料

大学生:2025年6月21日(土)~7月4日(金)14日間で実施。

高校生無料観覧者 5,078人 / 大学生無料観覧者 2,125人

2. 展示作品の質・量の充実

<展示空間の創出>

モネ自身の構想に基づく楕円形の展示室を実現することで、鑑賞者が睡蓮の池に囲まれるような体験を演出。

■国立西洋美術館

楕円形の部屋、モネの庭をさまようような展示空間の創出。

■京都市美術館

本展は大型の作品も多いため展示室を通常の展覧会会場を2か所使用。

第3章は、睡蓮に囲まれるように、楕円形に造作をした。

<展示映像>

モネ睡蓮の制作の源をたどる、展覧会紹介映像を作成。モネが育て、創作の場でもあったフランスのジヴェルニーの庭を紹介した。今回の展示作品はそのほとんどが、モネがジヴェルニーへ居を移してからのものであり、映像で展示を補完し、本展覧会ならではの付加価値をつけた。

3. 教育普及活動の充実

■国立西洋美術館

—講演会

○2024年10月5日(土)

エリック・デマジエール(マルモッタン・モネ美術館 館長)講演会

「マルモッタン・モネ美術館の美しき物語 1934-2024」

○2024年11月16日(土)

馬淵明子(前国立西洋美術館長/日本女子大学名誉教授)講演会

「モネと日本—相愛の物語」

○2025年1月18日(土)

山柘あおい(国立西洋美術館研究員/本展担当)講演会

「モネの庭」

○2024年11月1日(金)、12月6日(金)、12月19日(木)、2025年1月9日(木)

展覧会アシスタントによるスライドトーク(うち1回手話通訳つき)

—ジュニア・パスポート

券売窓口での小中学生への配布

美術館周辺の区立小学校へ、展覧会チラシ、ポスターとともに送付(制作部数 60,000 部)。

—美術館周辺区域の公立図書館、大学図書館へ展覧会図録の寄贈

■京都市美術館

○シルヴィ・カルリエ(マルモッタン・モネ美術館コレクション部長／本展監修者)講演会

3月7日(金) 14:00-15:30

○ジュニアガイドの作成

京阪神の小学校や公立図書館に 20,000 部を無料配布

○学芸員による小中学生向けギャラリーツアー2 回実施

○実践女子大学 六人部教授による講演会実施

■豊田市美術館

○シルヴィ・カルリエ(マルモッタン・モネ美術館コレクション部長／本展監修者)講演会

6月21日(土) 14:00-15:30

○ジュニアガイド作成(10,000 枚)

○幼年・若年向け託児施設の開設

3. 事故の有無(軽微な事故、ヒヤリハット事例も含む)

[作品返却貨物便 台風により出発延期]

マルモッタン・モネ美術館への作品返却にあたり、貨物1便が台風の影響を受け、47時間後に出発。

[経緯・対策]

成田発の貨物便の経由地である、香港が台風の影響を受け飛行機の発着ができない状況となり、離陸を12時間延期することになった。パレットサイズ済みのクレート、並びに他の全貨物は、安全面の考慮といつでも出発できるようにと、機内に搭載され、離陸を待つこととなった。しかし、クレートの積込み後、航空会社より当該貨物便が日本へ来る途中で受けた落雷の影響で、電気系統のトラブルが発生し、修理をしているという連絡を受ける。その後も度重なる出発延期の連絡を受けるが、電気系統の復活後、速やかに空調を入れるようにと依頼。

[結果]

空調が効かない期間が発生したが、貨物内が密封された空間であったこと、全作品がダブルクレート仕様ということもあり、バリ返却後の点検では、作品に問題はなかったという連絡を受ける。特に台風シーズンの輸送においては、あらゆる想定をして最善の方法を選択することが重要であると再認識した。

4. 安全配慮に関する特別の対応

全作品に結界の設置をすることがマルモッタン・モネ美術館等の貸出条件ではあったが、来場者が多くなることが予見されたため、東京では開幕後すぐに結界の強度を上げ、作品と結界の位置を広くとるなどの対策を講じた。京都、豊田は東京の状況を受けて、強固な結界を新たに作成、準備するなどし、安全な運営を実行した。3会場ともに、展示室内の監視体制、警備なども増員し、作品の保全に努めた。

各会場ともに、展示・撤収時の点検に加えて、作品の中間点検を日本側コンサバターにより実施。作品の状態把握に努めた。

5. 紹介事例・今後の改善点等

本制度の適用なくしては、モネが終生をかけて追い求めた〈睡蓮〉の連作や、「水の庭」を描いた作品群などを一堂に会して展示することはできなかった。入場料金を押さえながらも、多くの国民へモネの傑作の数々をご覧いただくことができたことは、本制度の「広く国民にすぐれた美術品鑑賞機会を提供する」という趣旨に合致する。

マルモッタン作品だけではなく、国内美術館が所蔵するモネ作品も並んで展示されることで、今は各地に分かれて所蔵され、並べて鑑賞することのできなかった作品、その空間を創出できたことは、大変意義深いものとする。

(9) 収支予算書

主催者名 国立西洋美術館、日本テレビ、読売新聞社、BS日テレ

●収入

	内 訳	万円
展覧会収入	展覧会収入	145,671
その他収入	その他の収入	41,500
	収入総額	187,171

●支出

	内 訳	万円
基本経費	展覧会準備・基本経費	110,393
設営・運営	設営・運営等会場関係経費	76,778
	総支出額	187,171

(9) 収支予算書

主催者名 マルモッタン・モネ美術館、読売テレビ、読売新聞社、キョードーエンタテインメント

●収入

	内 訳	万円
展覧会収入	展覧会収入	61,221
	収入総額	61,221

●支出

	内 訳	万円
基本経費	展覧会準備・基本経費	25,482
設営・運営	設営・運営等会場関係経費	34,257
利益		1,482
	総支出額	61,221

(9) 収支予算書

主催者名 豊田市美術館、マルモッタン・モネ美術館、中京テレビ放送

●収入

	内 訳	万円
展覧会収入	展覧会収入	34,886
その他収入	その他の収入	510
	収入総額	35,396

●支出

	内 訳	万円
基本経費	展覧会準備・基本経費	14,400
設営・運営	設営・運営等会場関係経費	20,996
	総支出額	35,396